



2023年12月29日

各位

会社名 株式会社テクノロジーズ
代表者名 代表取締役社長 良原 広樹
(コード番号: 5248 東証グロース)
問合わせ先 取締役経営管理部長 宮内 駿
TEL. 03-6432-7524

連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向等を踏まえ、2023年10月12日に公表いたしました2024年1月期（2023年2月1日～2024年1月31日）の連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想数値の修正（2023年2月1日～2024年1月31日）

	連結売上高 百万円	連結営業利益 百万円	連結経常利益 百万円	親会社株主に帰属 する当期純利益 百万円	1株当たり 当期純利益 円 銭
前回発表予想(A)	5,807	455	269	111	39.49
今回修正予想(B)	6,663	737	548	40	14.61
増減額(B-A)	855	282	278	△70	△24.88
増減率(%)	14.7	62.0	103.4	△63.1	△63.0
(参考)前期実績	1,075	168	160	74	30.85

2. 修正の理由

当社は2023年10月に株式会社エコ革及び株式会社OGIXの2社を連結処理することによる業績予想を修正致しましたが、再度、業績予想修正する必要がありますので、上記のとおり修正いたします。

売上高、営業利益、経常利益の増加の主な要因は、当社がM&Aを行う前の2023年3月において株式会社エコ革が大型契約の受注（下記参照）を行っていた案件の収益化が確実となったためです。当該案件の詳細は下記のとおりです。

受注内容

(1)	受注先	相手方の要請により非開示（以下「本件 SPC」）とさせていただきます。なお、受注先の相手方とは取引関係以外の資本関係及び人的関係についてはございません。
(2)	受注内容	本件は福島地区における大型の特別高圧太陽光発電設備を開発する SPC からの EPC 契約の受注となります。 本件 SPC は、社員持分の売買又は設備の売買を目的として、現在上場企業ないしはそれに準ずる大手企業等の中からその売却の候補先を選定しております。
(3)	受注金額	10,454 百万円（消費税含まず）
(4)	納期	2025 年 3 月（予定）

当該連結子会社の概要

(1)	名称	株式会社エコ革
(2)	所在地	栃木県佐野市高萩町 1322-9
(3)	代表者の役職・氏名	代表取締役 伊藤 繁三
(4)	主な事業内容	産業用太陽光発電、太陽光設備のメンテナンス、売電事業、土地の売買及び賃貸
(5)	資本金	1 億円
(6)	設立年月日	2013 年 10 月 29 日

当該案件については、当社と M&A 前の 2023 年 3 月に締結されたものでありますが、2023 年 12 月から工事の進捗に応じて収益化されていくこととなり、2025 年 1 月期に大部分が収益化されていくこととなります。

なお、2023 年 10 月 12 日に公表した業績予想には、工事の進捗に応じた収益の認識の開始がないと判断しておりましたので、業績予想に含めておりませんでした。しかしながら、第 4 四半期において、当案件の進捗に応じた売上計上が可能となったため、再エネソリューション事業の売上につき、前回業績予想の 4,239 百万円から 5,534 百万円、営業利益についても 310 百万円から 870 百万円に修正いたします。

なお、弊社グループの再エネソリューション事業については、現在、社会全体として SDGs の達成や、2050 年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする「カーボンニュートラル」の実現に向けた取り組みが注目されており、太陽光発電の社会的ニーズが高まる中、今後も市場規模の成長が見込まれており、適時開示で発表させて頂いているとおり、大手企業からのソーラーシェアリング案件の受注が見込まれております。

今後は、当社においても株式会社エコ革と連携を強固にすることによって、当社の技術力等を駆使することによりシナジー効果を発揮させながら DX 化、当社においても販売体制の強化に取り組み、販促活動行うこと等によって売上の拡大等シナジーを提供できるように見込んで取組んで参ります。

当社グループの IT ソリューション事業においてはクライアント企業の販売スケジュール見直しに伴う開発スケジュールの遅延等の理由により、売上高を前回業績予想の金額 1,421 百万円から 974 百万円、営業利益についても 335 百万円から 36 百万円に修正いたします。

一方で SaaS 事業においては、新規契約アカウント数も堅調な成長をみせており、売上高を前回業績予想の金額 145 百万円から 153 百万円に修正、営業損失を 168 百万円から 147 百万円に修正いたします。

連結売上高、連結営業利益、連結経常利益が大幅増益となっているにも拘わらず親会社株主に帰属する当期純利益が減益となっているのは、当社の株式会社のエコ革の持分比率が 34% であることから、再エネソリューション事業が 34% の利益の取込に留まり、残りの 66% の利益については非支配株主持分に 343 百万円（前回業績予想からの 256 百万円増）振り替える必要があるためです。

以上の影響により連結売上高、営業利益等については上記の予想となります。

以上